

街を明るく“私道街灯（防犯灯） 蛍光灯からLEDに”

その昔街灯は、裸電球に鍋蓋に似たカバーが取り付けられた形状で地域の担当者が夕暮れ時に紐を引っ張って点灯し、翌朝には消していました。その時代を知る方も地元では少なくなってきました。現在は自動点灯器具がその作業をしてくれます。

時の流れに応じ、家電メーカーも蛍光灯器具の生産を中止しLED器具に移行してきました。大田区建築調整課でも2019年頃よりLED器具への交換に対応を始め、当初は破損した器具の交換からでしたが、その後は老朽化した器具の交換も助成を受けられるようになりました。

小池自治会は、雪谷地区9自治会のなかでも街灯数142灯と地域全体の22%強と設置個数も多く、大田区の助成と自治会予算でLED器具への更新終了には6年強掛かりましたが昨年7月に全数LED器具に更新出来ました。この更新により省電力化になり照度も上がり、また器具も小型化されましたので道路も広く感じられるようになりました。

LED器具の寿命も約4万時間とも10年とも云われていますので、蛍光灯のように2～4年で球切れ交換する作業もなくなり、各自治会街灯担当者も点検作業から解放されると思います。

（小池・原 龍興）

自治会「一」記事：希望ヶ丘自治会 自治会女性部の活動紹介

女性部11名は隔月の定例会の他、盆踊りや神社のおまつり、自治会の様々な催しに参加しています。今回は年に1回、地域の歴史を学ぶ町散歩で、「勝海舟記念館」を訪ねました。

記念館内では映写があり、その中に進軍中の西郷へ渡す手紙の中の言葉が印象的でした。「江戸中に火をかけることは人間のすることではない。人が幸せになることを目指しているのに天の道に反している。」勝と西郷の数回の話し合いの中で熱い信頼関係が生まれ、無血開城に成功しました。

世界に誇れる無血開城は、勝の幕府軍と、西郷の新政府軍との話し合いのもとに行われていたことが、よくわかりました。その頃、勝は美しい洗足池を見て、自分の洗足軒や墓地を建てることに決めました。後に、西郷の留魂詩碑も墓地の隣に建てました。

大森六中の生徒達は、墓地の掃除をしています。綺麗にして歴史を学ぶ事は、自分の考える力を育て、それは、明るい未来につながるでしょう。

展示資料に集中して、丁寧に目を通して見ると、職員の方に「女性の皆様は見るのが上手ですね。」と言われました。いくつになっても学ぶことは大切です。

私たちは深い満足を持って帰路につきました。

（希望ヶ丘・山崎 マサ子）

** 編集後記 **

はるか遠く電車はどこに向かっていくのかしら・・・と思った今号の表紙です。洗足池の美化に努められた歩みを綴ったトップ記事。東京のオアシスとしての先輩たちの願いは訪れる人の笑顔に引き継がれています。原さんの防犯灯にまつわる今昔物語には驚きましたが、防災訓練、おやじの会も頼もしい地元の底力です。町散歩で訪れた勝海舟記念館、早速飛んで行きたくなりました。

春爛漫、たくさんの幸せに会う為さくら号も発車です。

出発 進行！

（池の台・柏 三八子）

【編集委員】

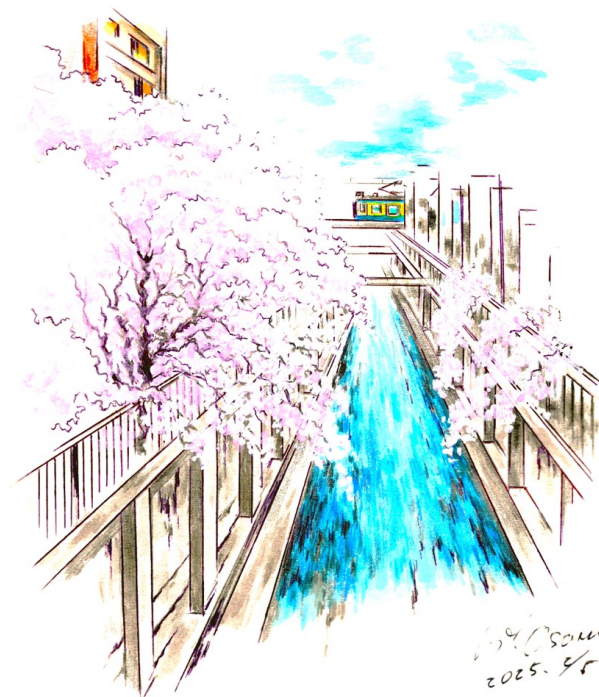
笹丸・小林 忠雄／雪谷石川台・長谷川 可織／希望ヶ丘・阿部 倫子／
南雪谷・河野 洋一郎／東雪谷東中・小山 智恵子／東雪・永久保 美代子／
池の台・柏 三八子／小池・小山 憲生／上池上・船山 康夫

ふれあい雪谷(創刊・平成2年12月20日) 年4回発行
(1月・新年号／4月・さくら号／7月・あさがお号／10月・もみじ号／の1日発行)
【発行日】 令和7年 さくら号 4月1日(通巻・第138号) 発行
【発行】 地域力推進雪谷地区委員会 【編集】 ふれあい雪谷編集委員会
【連絡先】 大田区地域力推進部雪谷特別出張所
〒145-0065大田区東雪谷三丁目6番2号 ☎3729-5117 FAX3729-1826

地域情報紙

ふれあい 雪谷

令和7年4月 さくら号 通巻第138号



雪川の桜

この川沿いに咲く桜の中でも、雪谷中学校付近の桜は一段と見事です。川面に届けとばかり枝先広げ、その向こうに池上線が・・・残念ながら池上線の高架は遠く見えません。でも描き手の私には見えたのです。

小池・今成 修さんの作品

「ふれあい雪谷」のホームページは
こちらからご覧いただけます。



洗足池を守る会・発足50周年を 迎えるにあたって

我が「洗足池を守る会」は3年後に発足50周年を迎えます。この場をお借りして会の歴史を紹介いたします。尚、洗足池の保存にあたっては、他にもたくさんの団体が自主的に活動されていることも付記しておきたいと思います。

昭和30年以降、洗足池周辺に住宅が増えるに従って、家庭用の排水が池に流れ込み、池の水質が悪化していきました。また、ごみの不法投棄によりさらに環境が悪化、アオコの発生もあり、悪臭が漂ってしまいました。こんな荒れ放題であった洗足池の環境を守ろうと当時の先輩方が立ち上がり、昭和42年にグループを作ってゴミ拾いの活動を始めました。10年後の昭和52年には東京都の認可を受けて正式に会を設立しました。以後、毎月、池の巡回をして清掃活動と危険箇所等がないか見て回り、不備な点があれば、行政に対して公園整備の陳情や請願を行ってまいりました。その結果、浄化槽の設置や池周辺の整備が大きく進みました。また、アルミ缶の回収や新聞古紙の回収を始め、その収益金で大田区に車椅子などを寄贈してきました。平成29年の40周年の時には、洗足池に桜の苗木2本を植樹しました。

洗足池は都内でも自然の景観を残す唯一無二の地域です。洗足池には水辺の青い宝石と言われているカワセミが飛来して来ます。その美しさには心が癒されます。私たちはこの美しい鳥がここで巣を作り、子育てができることを願い、カワセミが巣作りしやすい場所を作りました。翌年、狙い通り、その場所で巣を作り雛もかえりましたが、残念なことに雛がヘビに食べられてしまいました。このような受難にもかかわらず、毎年、カワセミはその美しい姿を見せてくれます。

また、春になればカルガモが雛を従えて池に行く姿も見られ、なんとも愛らしく微笑ましいのです。ところが、このカルガモもまた受難の時がきます。それは、雛が日を追う毎に、一羽また一羽といなくなっていくのです。これも同じくヘビやカラスや池の中にいるカメに襲われ食べられてしまいます。カワセミもカルガモもかわいそうですが、これも自然の摂理と受け止めています。

洗足池は、自然豊かな所です。たくさんの野鳥が訪れ、四季折々の自然が楽しめます。近年、野鳥の種類が減少してきているのも事実です。また、池にヘドロが溜まり水質悪化の原因にもなっています。一度掻い堀りを実施してヘドロを回収し、池の外来種を除去して元の池の姿を再現できたらと願っています。これからも、人と自然が共存できる洗足池を目指し活動してまいります。

(洗足池を守る会会長・細井 宏二)



異常気象が続いています

ここ近年、地震・水害・猛暑・ドカ雪と年間を通して異常気象が頻繁に起こっていると思いませんか。それぞれの対策を各個人が完璧に行うのは到底無理なことと思います。被災地のニュースなどを見て被災者の悲痛な叫び声を聞いて私たちもいつ、どんな災害が待ち受けているのか、考えておかなければいけないと思います。

先日、30年以内に80%の確率で南海トラフ地震の発生が見込まれると気象庁の発表がありました。それぞれの住居環境の特性もあると思います。

東雪自治会の地域は呑川から荏原病院まで高低差がかなりあり、大田区の出しているハザードマップ等を見て自分の住んでいる場所を確認し、特に注意しなければならない災害に対して意識して防災対策を考えなくてはいけないと思います。

東雪自治会としてコロナ禍前までは地域の人々と池雪小学校にて防災訓練を行っていましたが、コロナ禍以降行えていません。

今、雪谷特別出張所の協力のもと、東雪防災対策委員会にて水害時緊急避難者受け入れ訓練を池雪小学校で実施しています。いつ起こるかわからない災害に備えて避難者受入れをスムーズに行えるように形がまとまり次第、自治会の皆様参加の訓練が行えるようにしたいと思います。

(東雪・国府方 清隆)



雪谷地区の表彰者

○令和6年度防災市民組織等感謝状

高橋 浩二 櫛本 晶子 海老澤 広佳 吉川 武康

○令和6年度大田区青少年表彰

三森 瑞叶 生川 桃花 町谷 寧々

池雪小学校「おやじの会」です

「池雪小学校おやじの会」は、池雪小児童の保護者有志が集まり「子どもたちの学校生活がさらに楽しく愉快なものになるため何かできることはないか」と様々なイベントを2007年から企画・運営しています。

当初は運動会など学校行事での力仕事メインでしたが、「子どもたちにプラスになるオリジナルイベントを企画しよう!」と、地域の皆様や池雪小PTA役員会のご協力を得て「自転車安全教室」「餅つき大会」「ドッジボール大会」などを開催して参りました。

今年度の活動内容は以下の通りです。

4月中旬「新入生歓迎イベント」

4月下旬「大田区子どもガーデンパーティー」
(洗足池会場)に出店

6月中旬「自転車安全教室」(田園調布警察署協賛)

8月下旬「東雪自治会子ども夏まつり」
(上池上自治会協力)に出店

10月上旬「雪谷地区9自治会スポーツまつり」

11月～3月「池雪小遊び場解放(ドッジボール大会など)」

この他にも、おやじの会OBを通して地域のお祭りへの出店などのコミュニティ活動に参加しています。基本方針は「無理せず、手抜きせず、おやじも楽しむ」です。毎月第3土曜日18時～19時に池雪小学校PTA会議室にて月例会を開催しています。お子様の学年を問わず、新メンバーを随時募集中です。

ご興味のある方は、pta-oyaji_admin@tisetusyou-pta.org までお気軽に連絡ください。お待ちしております。

(池雪小学校おやじの会副会長・中安 陽介)

